

子ども発達スクール かすたねっと 自己評価表

評価実施日：平成 29 年 12 月 28 日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	○			移転により、環境等を含め適切なスペースを確保しました。
	職員の配置数、専門性は適切であるか	○			作業療法士・特別支援教員、心理士等、専門職を配置しています。
	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			スロープやトイレ等もバリアフリー化しています
	指導訓練室の安全対策は、十分にとられているか	○			床に木材で空間を作り、万が一の転倒の際に、衝撃が最小限になるように施工しました。
	事業所内は常に、衛生的な状態であるか	○			毎日の清掃、遊具・トイレの消毒を実施しています。
業務改善	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日その日の振り返りと翌日の目標設定を実施しています。
	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○			今年度より、アンケート調査を保護者様に向けて実施しました。
	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	平成 30 年よりホームページで公開予定です。
	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	必要性に応じ検討中。
	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内研修の実施及び外部研修会への参加の機会を設けています。
	事業所内で職員の相談体制を整備しているか	○			スーパーバイザーによるアドバイスを実施しています
適切な支援の提供	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			子どもの心身のニーズを把握し、子どもとその家族の生活に対する意向に沿った個別支援計画を作成しています。
	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			発達検査および評価を実施しています
	子どもに応じたプログラムを実施できるように、様々な有資格者で立案を行っているか	○			作業療法士、特別支援教員、心理士等でプログラムを立案しています。

	子どもの状況に応じて、課題をきめ細やかに設定しているか	○			それぞれのお子様に応じたプログラムを実施しています。
	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	○			お子様の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせて、半期ごとに個別支援計画を作成しています。
	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			前日に翌日行われる支援の内容や役割分担について確認し、情報の共有をしています。
	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			終業時に、その日に行われた支援の振り返りを実施し、情報の共有をしています。
	日々の支援に関して、正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日記録を記入し、支援の検証・改善につなげるようにしています。
	定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期ごとに個別支援計画の見直しを実施しています。
	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			複数の基本的な活動を組み合わせて支援を行っています。
	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			○	障がい児相談支援事業所の利用者が少ないため、サービス担当者会議が実施されていない。今後サービス担当者会議の開催が増えれば、参画していこうと考えています。
関係機関や保護者との連携	子どもが利用している保育園・幼稚園・学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	○			母子通園のため、基本的には保護者様を介して情報共有、連絡調整を行っています。
	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	主たる対象児を、発達障害児としているため、対象児の利用はございません。
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	就学前からの利用を基本としているため、必要に応じ、情報共有と相互理解に努めています。
	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			障害福祉事業所等へ移行する際には、当事業所で実施した内容を情報提供をしています。
	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			大阪府障がい児通所支援事業者育成事業等の研修会に参加しています。

	地域での他のお子様と活動する機会がありますか		○		地域交流については、変化に弱い子どもが多いため、個々に合わせて限定的ではあるがを行っています。
	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		全てに参加できないが、出来る限り協議会・勉強会等へ参加しています。
	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			母子通所のため、来所時に保護者様とお子様の日々の様子を伝え合い、共通理解できるようにしています。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して研修等の支援を行っているか	○			定期的に保護者様への研修会を実施しています。
	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前に説明を実施しています。
保護者への説明責任等	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様から日頃の悩み等を伺っています。 ※必要性が高い場合等は専門家によるアドバイスをを行っています。
	保護者同士が連携できるような支援をしているか		○		就学前や同学年などお子様の年齢の近い保護者様への研修会や座談会を行っています。
	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受け入れサポートのための第三者機関を整備しています。
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		定期的ではないが、ホームページや掲示板等で情報を発信しています。
	個人情報に十分注意しているか	○			記録等はカギのかかる場所に保管しています。
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的に理解しやすいように環境設定をしています。
	地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域交流できる場を検討中です。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル(非常災害対応・防犯対策・感染症対応)を策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルを作成していますが、職員、保護者様への周知、説明をさらに行っていきます。
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に避難訓練を実施しています。
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に職員の研修会を実施しています。

どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか		○		母子通所のため、必要なし。
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	○			食物アレルギーのある子どもに食べ物を提供する際は、保護者様に現物をみせ、アレルギーの確認をしています。
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			その日の終業時にヒヤリハット事例を記録しています。